

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立肥前中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの評価項目も全体としては概ね達成できた。</li> <li>昨年度と比べて、到達度Aが5個から3個に、Bが8個から7個に減少した。各評価項目で明らかになった課題について具体的な改善策に取り組みたい。</li> <li>唐津市学力向上指定校として2年目となる令和2年度は、具体的な改善策・向上策を年間計画に基づいて実行し、学力向上をさらに推進したい。</li> </ul>
2 学校教育目標	いつも 誰もが 来てよかった 肥前中
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 肥中生の学ぶ力を育成する学習指導法を工夫する。</li> <li>② 保護者との連携・小中連携を推進する。</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目							
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学校アンケートで、「自分の考えを話したり、書いたりしているか」の割合を年度初めより10ポイント向上させる。また、家庭学習を1時間以上行う割合を10ポイント向上させる。	●各教科でアウトプット活動主体の授業実践を行う。 ●各教科でアウトプットを意識した家庭学習の指導を行う。	A	●アウトプット活動主体の授業実践を行い「考えたことを書いたり話したりする」項目は全校平均でやや下がったが、86ポイントが肯定的評価であった。また各教科でアウトプットを意識した家庭学習の指導を行い、1時間以上家庭学習を行う生徒の割合が全校平均で12ポイント増えた。	B	●保護者アンケートでは9割以上が肯定的な評価であった。 ●学校評議員からは、家庭と連携してもっと鍛える必要があるとの意見があった。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○特別の教科道徳で、年間計画に沿った授業を実施し、授業を通して肯定的な意見に変容する生徒が70%に達することを旨とする。	●道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施。	B	●道徳科の授業や朝の会、帰りの会で、同和問題や女性・子ども・高齢者の人権、性的指向などの人権学習に取り組むことができた。	B	●自分の子どもが、他人の嫌がることを言ったり、したりしていないと思っている保護者は86%、頭髪や服装の決まりを守っていると感じている保護者は92%だった。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	●DV予防教育講演会を12月に実施する。 ●命の教育講演会を6月に実施する。 ●アンケートを定期的に実施する。	A	●本年度のいじめの認知件数は8件。昨年度は0件であった。これは、生活アンケートや、面談、普段の生活で職員がいじめに対する意識を持っていたからだと考える。そのような観点で見ると、いじめ防止について組織的対応ができていたと言える。今後も、いじめに対する研修会等を職員に対して開いていく。	B	●インターネットによるいじめの状況は、わかりにくい。肖像権や著作権などでネットパトロールから連絡があった。情報モラル教育が必要である。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の生徒80%以上 ●「起床時間と睡眠時間を設定している」と回答する生徒80%以上 ●「健康に食事は大切である」と考える生徒80%以上	●生活習慣アンケートの実施する。(運動・生活リズム・食事・安全について) ●生徒会の給食実践部が「学習と食生活」のスライドを作成し伝達する。 ●各担当が「スポーツと食生活」のスライドを用いて講話をする。	B	●今年度は新体力テストを断念したことにより生活アンケートの実施も断念した。 ●スポーツの活動時間は集計できなかったものの体育の授業では基本的体力の向上に努めることができた。	B	●99%の保護者が「朝食を食べさせて投稿させるようにしている」と回答したが、生徒の加藤は若干下回った。給食指導を核とした食育の充実が必要である。
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	●交通安全教室を5月に実施する。 ●自転車点検の実施する。	B	●交通事故0とはならなかったことが残念な結果になった。 ●自転車登校者が増えてきたので今後も交通指導を徹底していく。	B	●警察や交通指導員と連携し、学期ごとに交通安全教育を継続する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	●毎週定時退勤日を設定する。 ●業務記録票により毎月の時間外勤務の状況を可視化し、各自改善を図る。 ●学校閉庁日を設定する。	B	●職員会議や研修会におけるデジタル化が定着し、業務とコストの効率化が進化した。 ●勤務終了後、できるだけ早く退勤しようとする職員の意識が醸成されてきた。	B	●業務の効率化と月45時間以下の時間外勤務の推進について、「そう思う」と「大体そう思う」と回答した職員が共に41.7%だった。さらに、業務の効率化と意識改革が必要である。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目							
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○開かれた学校づくり	○ICTを活用した情報発信	○「学校は情報発信に努めている」と答える保護者の割合を85%以上にする。	●はなまる連絡帳の更新頻度を高める。 ●地域の団体等と協働した教育活動を実践する。	A	●保護者アンケートで「肥前中は情報発信に努めている」に「そう思う」が52.7%、「大体そう思う」を含めると89.3%となり、達成できた。 ●3学期も地域と協働した総合学習ができた。	A	●3年下校時刻がわかると助かります。短縮の日もあるようなので。(5名)
○小中連携	○小中連携による共通理解と共通実践	○年度初めと比べて、家庭学習への取組が充実したと答える生徒の割合を80%以上にする。	●学ぶ意欲を高める自主学習ノートの取組等を学年に応じて実践する。	A	●小学校への出前授業や小学生からの算数アンケートなど、研究授業以外でも交流が進化した。 ●全学年で自学ノートを共通実践できた。	A	●どういった連携をしているのかを知らない。(1名)の他、「小中連携した生活・学習習慣づくり」については「大体そう思う」が64.5%と最も多かった。より多様な広報が必要である。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>各評価項目については、概ね達成できた。</li> <li>「開かれた学校づくり」と「小中連携」については、十分達成できた。この成果を学力向上にもつなげていきたい。</li> <li>令和3年度はGIGAスクールの一人1台端末に関して佐賀県教育委員会の研究指定校となる。効果的な活用法を研究し、実践していきたい。</li> </ul>
----------------	---